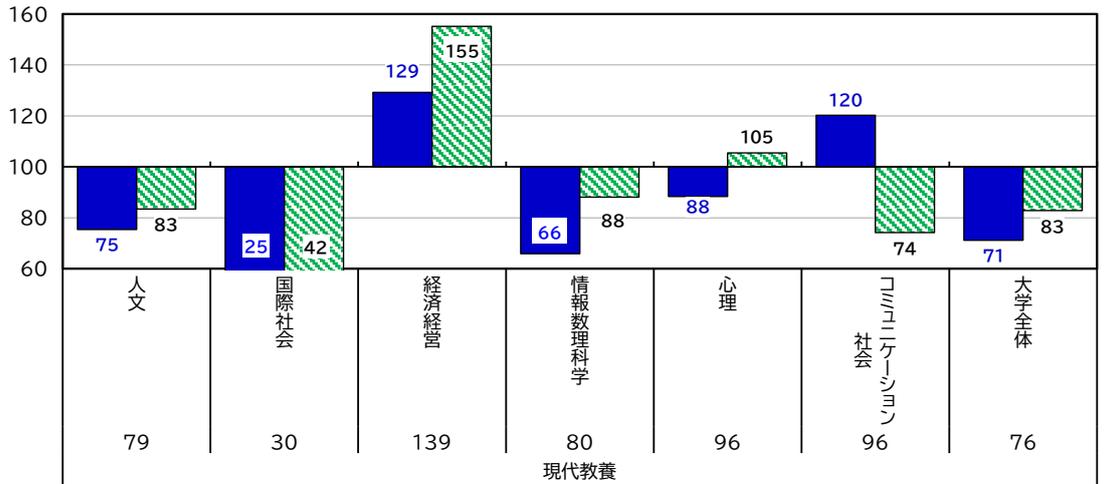


東京女子大：学科改組を行ったが、志願者数は大幅減少、志願倍率もダウン 一般:-1,163人 共テ:-537人

※前年度の志願者数を100とする指数  
※学科名の下の数値は学科全体の指数



\*それぞれの学科の前年度との比較対象は、下記「主な入試変更点」中の「学科・専攻ごとの対照表」を参照

主な入試変更点

学科改組：現代教養 1学部5学科 専攻単位での募集→1学部6学科 学科単位での募集(人文除く)  
学科名称変更：現代教養(情報科学)→現代教養(情報数理科学)

学科・専攻ごとの対照表

2024年度	2025年度
人文／哲学	人文／哲学
人文／日本文学	人文／日本文学文化
人文／歴史文化	人文／歴史文化
国際英語	人文／英語圏文化
国際社会／国際関係	国際社会
国際社会／社会学	
国際社会／コミュニティ構想	
国際社会／経済学	経済経営
数理科学	情報数理科学
心理・コミュニケーション／心理学	心理
心理・コミュニケーション／コミュニケーション	社会コミュニケーション

※グラフおよび以下の本文において、志願者数の比較は本表に基づいて行う

※学科単位での比較は隣接する太枠同士で行う

選抜方法：現代教養(全学科)＜一般・Global Citizenship Program Link 型＞…新規実施  
＜共テ・3月期(国公立併願型)＞…廃止  
(人文／英語圏文化)＜一般・英語 Speaking Test 利用型＞…廃止

COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,700人(76)の大幅減少。学科改組に伴い、募集人員も65人(89)減少したが、それを上回る志願者数の減少で志願倍率は12.3倍→10.5倍にダウン。方式別では、一般方式は1,163人(71)の大幅減少で、志願倍率も10.1倍→7.7倍にダウン。募集人員変更によって志願者数の増減と志願倍率の上下が一致しなかった学科を挙げると、経済経営(129)、社会コミュニケーション(120)はいずれも志願者数は大幅増加だが、志願倍率はそれぞれ15.4倍→8.4倍、9.0倍→7.5倍にダウン。一方で、人文(75)は、志願者数は大幅減少だが、志願倍率は8.9倍→9.4倍にアップ。共通テスト利用方式は537人(83)の大幅減少だが、募集人員の変更により志願倍率は17.2倍→17.9倍にアップ。＜共テ・3月期＞(112)のみ前年度の＜共テ・3月期(国公立併願型)＞、＜共テ・3月期(専攻特色型)＞の合計との比較で志願者数も増加。

学部	学科／専攻	共用利用	募集人員	志願者数	志願者指数
現代教養	人文／哲学		14	198	139
	人文／日本文学文化		28	310	83
	人文／歴史文化		28	250	88
	人文／英語圏文化		28	166	39
	国際社会		56	322	25
	経済経営		76	636	129
	情報数理学		35	114	66
	心理		38	348	88
	社会コミュニケーション		70	522	120
	人文／哲学	共	13	171	130
	人文／日本文学文化	共	13	264	80
	人文／歴史文化	共	11	242	98
	人文／英語圏文化	共	11	223	60
	国際社会	共	21	276	42
	経済経営	共	24	481	155
	情報数理学	共	14	245	88
	心理	共	14	328	105
	社会コミュニケーション	共	24	362	74